



日販グループホールディングス

2022年度 上半期決算報告

(2022年4月～2022年9月)

日販グループホールディングス株式会社 2022年11月25日

エグゼクティブ・サマリー

連結経営成績

減収・経常減益（中間純利益増益）

売上高：2,198億円（前年比89.2%） 営業利益：▲1億円（前年比－）

経常利益：1千万円（前年比0.8%）

親会社株主に帰属する中間純利益：11.7億円（前年比119.9%）

ハイライト

取次・小売事業の構造的赤字を成長事業でカバー、経常黒字を確保

- 取次・小売事業は、想定以上の市況悪化で減収・赤字。
- 海外・雑貨事業は、国際情勢や消費行動が変容するなか、健闘。
- コンテンツ・エンタメ事業は売上・利益ともに拡大。
- 不動産事業は堅調に推移。

ESG

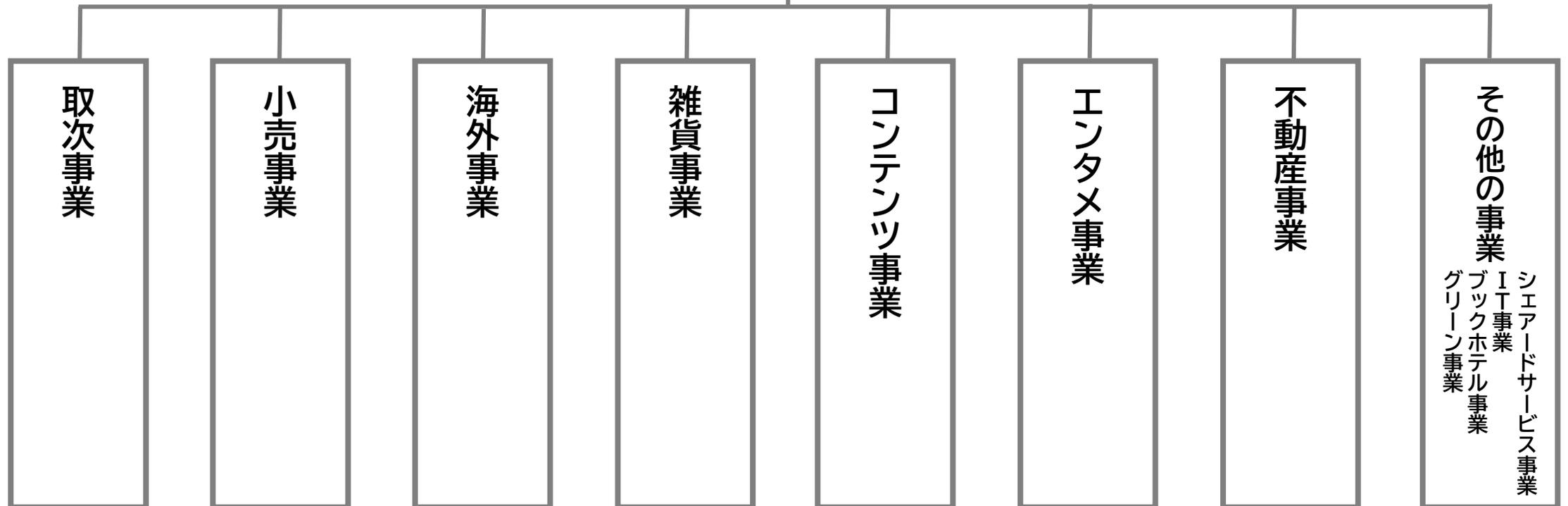
- 「日販グループ ESGレポート2022」を2022年10月に発行し、非財務情報を開示。
- 出版流通に係るCO₂排出量削減 2030年目標▲26%(▲21,000t-CO₂)に対し、2021年度実績は▲7%(▲5,470t-CO₂)。



日販グループ事業体制図

<日販グループ経営理念>
人と文化のつながりを大切にして、すべての人の心に豊かさを届ける。

日販グループホールディングス株式会社



1. 連結經營成績
2. 事業別業績
3. 連結計算書類
4. 補足資料

連結経営成績

(2022年4月～2022年9月)

連結経営成績

(単位：百万円・%)

	2022年度	2021年度	前年差異	前年比
売上高	219,813	246,399	▲26,585	89.2
売上総利益	29,938	32,475	▲2,536	92.2
販売費及び一般管理費	30,043	30,829	▲786	97.4
営業利益	▲104	1,645	▲1,749	—
経常利益	15	1,969	▲1,953	0.8
親会社株主に帰属する中間純利益	1,178	982	195	119.9

- 取次・小売事業で大幅減収。
- 取次・小売事業を他事業でカバーし、グループ全体で経常黒字は確保。
- 不動産事業における土地・建物の交換差益により、親会社株主に帰属する中間純利益は増益。

事業別業績

(2022年4月～2022年9月)

事業別業績

7/41

(単位：百万円・%)

	売上高			営業利益			経常利益		
	2022年度	2021年度	前年比	2022年度	2021年度	前年比	2022年度	2021年度	前年比
取次事業	200,676	226,521	88.6	▲762	593	—	▲638	721	—
小売事業	25,668	29,164	88.0	▲318	▲1	—	▲340	53	—
海外事業	3,450	3,360	102.7	99	107	92.6	95	109	86.8
雑貨事業	1,627	1,487	109.4	64	99	64.8	65	120	54.3
コンテンツ事業	1,979	1,364	145.0	325	286	113.6	326	286	114.0
エンタメ事業	608	533	114.2	8	▲38	—	8	▲38	—
不動産事業	1,597	1,570	101.7	624	618	101.0	579	577	100.3
その他の事業	3,958	4,119	96.1	▲14	92	—	81	184	44.2
連結合計	219,813	246,399	89.2	▲104	1,645	—	15	1,969	0.8

取次事業

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年 比
売上高	200,676	226,521	▲25,845	88.6
営業利益	▲762	593	▲1,355	—
経常利益	▲638	721	▲1,359	—

※日販決算の詳細は、日販の決算資料をご参照ください。

- 取次事業は減収・赤字決算。
- 日本出版販売(株)は、市況が厳しく、書籍・雑誌・コミックスともに減収。減収による売上総利益減少に加え、送品に占める運賃割合増加や光熱費高騰もあり、赤字決算。
- (株)MPDは、物流拠点の統合等の既存事業のコスト圧縮を実施するも、想定以上の売上落ち込みと、リテール事業出店拡大に伴う投資影響が先行し減益。

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年 比
売上高	25,668	29,164	▲3,496	88.0
営業利益	▲318	▲1	▲317	—
経常利益	▲340	53	▲393	—

- 小売事業は減収・赤字決算。
- 雑貨、ゲーム、トレカは好調に推移、一方でBOOKの落ち込みが大きく、全体で減収。
- 固定費削減に取り組むも、光熱費など社会的コストの高騰が影響し、減益。
- 駿河屋などの、新たな書店複合パッケージの導入が拡大。今後さらなる成長を見込む。

グループ書店5社の損益構造

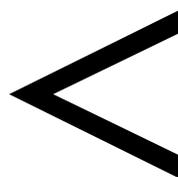
売上総利益

(前年比93.5%)



売上総利益率 **29.7%**

(BOOKの他、文具、雑貨など含む)



販管費

(前年比95.4%)



販管費比率 **30.9%**

↳水道光熱費比率 **1.3%** (実額前年比118.7%)

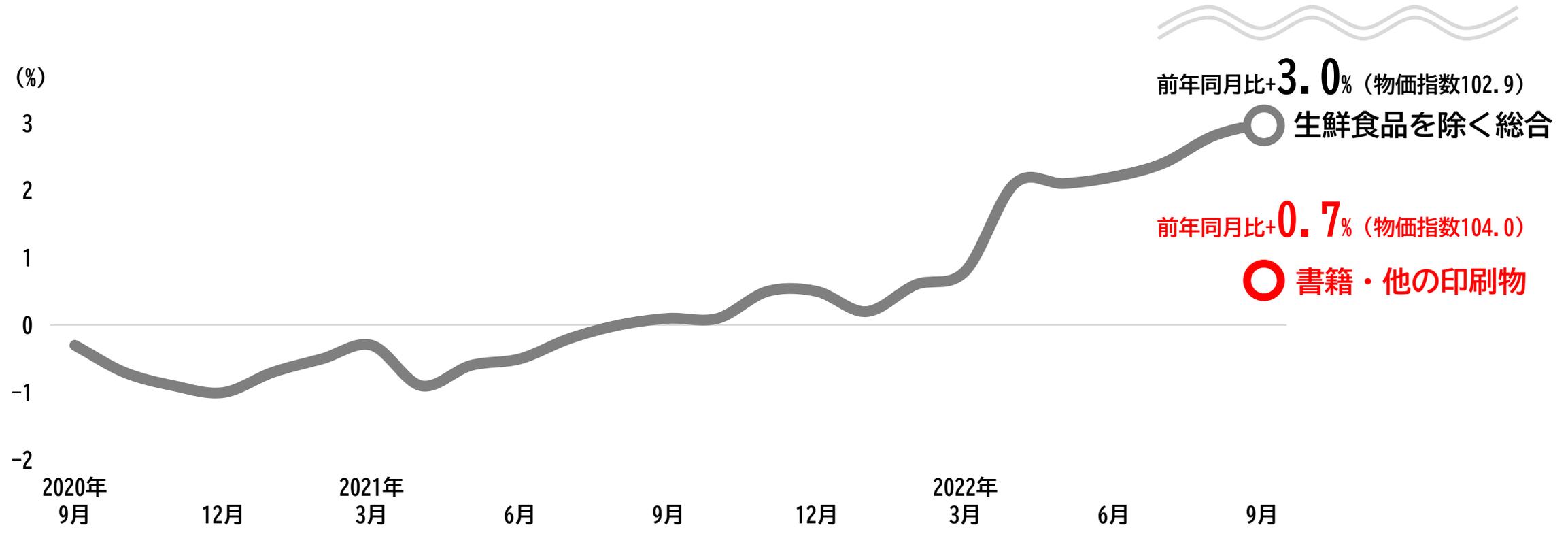
↳キャッシュレスコスト比率 **1.0%** (実額前年比109.0%)

販管費が粗利を上回る構造

(参考)

消費者物価指数

(生鮮食品を除く総合・前年同月比)



※「2020年基準 消費者物価指数 全国2022年（令和4年）9月分」（総務省）より作成



日販・出版社様・メーカー様と協働した店頭集客、
新たな書店複合パッケージの導入で売上アップを図る

コスト削減に継続して取り組む

書店は価格転嫁ができない

社会コストの高騰を補う施策に取り組む

小売事業（新たな書店複合パッケージ）

(株)エーツーと合併会社を設立

中古リユース事業の導入で「持続可能な書店」の実現を目指す



グループ書店で駿河屋**5**店舗出店

B00K改装店の書店坪売上が**14%**アップ！

お取引先にも導入を進めていく まずは(株)フタバ図書に導入

小売事業（新たな書店複合パッケージ）



駿河屋福山店様

フタバ図書 TSUTAYAアルティ福山店にオープン

小売事業（新たな書店複合パッケージ）



駿河屋福山店様

オープン初日は350人超の行列に



駿河屋福山店様

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年 比
売上高	3,450	3,360	89	102.7
営業利益	99	107	▲7	92.6
経常利益	95	109	▲14	86.8

●海外事業は増収減益。

●CLUB JAPAN (※) 事業は、期首に中国のロックダウンやロシアのウクライナ侵攻の影響を受けるも、8月に中国向け郵便引受が再開となり、受注が急増。

●輸出事業も、6月の中国のロックダウン解除を受けて受注が伸び、業績に貢献。

※国内企業の海外駐在員に向けた生活物資送付を請け負うサービス。
書籍・雑誌・食品・雑貨・医薬品などが対象。駐在員・ご家族の生活の質を向上させるESG施策として多くの企業様に採用いただいている。

40年以上のサービス経験と年間50万件の発送実績で
業界No.1シェアを獲得（当社調べ）



海外で暮らす人々に良質な商品を提供し、より豊かな人生に貢献する

海外事業（日販アイ・ピー・エス(株)）

「えいごのえほん」とは？

人気のある海外絵本を厳選して輸入し、POP一式、オペレーションマニュアルなどと合わせたパッケージとして、国内の書店様で展開する企画。



TSUTAYA AVIX福知山店様

上半期
展開店舗数

147店舗

(商品回転率1.6回)

「えいごのえほん」を国内各書店へ展開

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年 比
売上高	1,627	1,487	140	109.4
営業利益	64	99	▲35	64.8
経常利益	65	120	▲55	54.3

- 雑貨事業（≡ダルトン）増収減益。
- イエナカ需要が落ち着いたことで、リテール既存店・オンラインは売上減となるも、リテール前期新規店（2021年度下半期オープン）とセールスにより、全体では増収。
- リテール既存店の売上減と、不稼働在庫対策として特価販売を進めた影響による原価率悪化で、減益。



「第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022」

ディスプレイコンテンツで大賞受賞



北九州市にモデルハウス第一号完成



(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年比
売上高	1,979	1,364	614	145.0
営業利益	325	286	39	113.6
経常利益	326	286	40	114.0

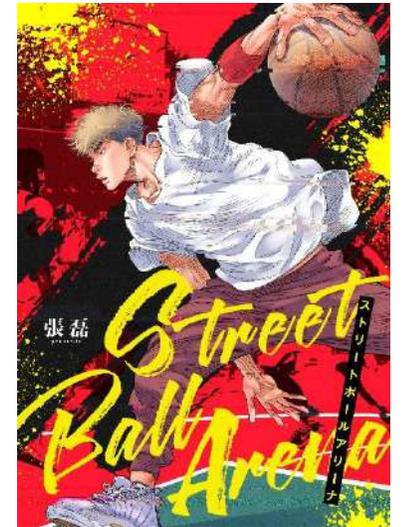
- コンテンツ事業は増収増益。
- 海外コミックの国内配信事業（Rush!）の伸長に加え、紙単行本の海外展開も拡大。
- 人員増強やオフィス移転・プロモーション強化等の投資を強めたことによる費用増加はあったが、売上拡大によって増益を達成。

コンテンツ事業（株）ファンギルド

韓国、中国などの海外マンガの日本ローカライズ・配信事業

RUSH!

上半期売上高 **10** 億円



「Rush!」が好調 全体の増収を牽引



アジア・ヨーロッパ **7** か国で販売契約
海外での発行部数 **68,000** 部

紙単行本「ニューノーマル」を海外展開

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年比
売上高	608	533	75	114.2
営業利益	8	▲38	47	—
経常利益	8	▲38	46	—

- エンタメ事業は増収増益（黒字転換）。
- 予定していた検定・イベントをすべて実施（検定9件、イベント6件）。
- 検定事業では、オンライン検定の実施と、新規受験者・リピーター獲得のための無料プレ試験などに取り組んだ。
- イベント事業では、「パンのフェス」のテレビ局タイアップや、「文具女子博in大阪」などを開催。



仙台初開催「knbぐりりとパンのフェス2022」

エンタメ事業（日販セグモ(株)）

パンの専門家・パンシエルジュ100名が試食を通し「パンと相性抜群！」と回答

森永乳業のチーズがパンシエルジュ認定ロゴつき新パッケージで発売中



×



かがやく“笑顔”のために
森永乳業



パッケージ裏には
パンシエルジュの紹介も



パンのフェスの原点「パンシエルジュ検定」が全国のスーパーに



大阪 来場者数
18,000人
文具女子博
累計来場者数
26万人

「文具女子博」大阪での自主開催のほか、京都などでも開催



「文具女子博2022」 11月23日(水・祝)～11月27日(日) @東京流通センター

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年比
売上高	1,597	1,570	27	101.7
営業利益	624	618	6	101.0
経常利益	579	577	1	100.3

※等価交換差益2,179百万円を特別利益に計上

- 不動産事業は増収増益。
- 新お茶の水ビルディング及び、所有するオフィスビルは、すべてのビルが満床状況にあり、安定的な売上を維持。
- 2018年6月に三菱地所(株)と共同で蓮田再開発プロジェクトを始動し、2021年3月にロジクロス蓮田が竣工。2022年6月に土地・建物の等価交換を実施。



ロジクロス蓮田 今後も安定した利益の創出を見込む

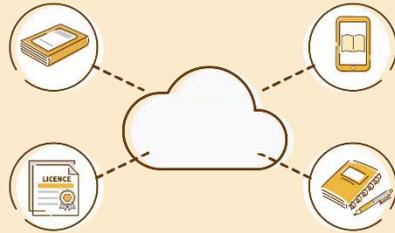
その他の事業

(単位：百万円・%)

	2022 年度	2021 年度	前年 差異	前年 比
売上高	3,958	4,119	▲161	96.1
営業利益	▲14	92	▲106	—
経常利益	81	184	▲102	44.2

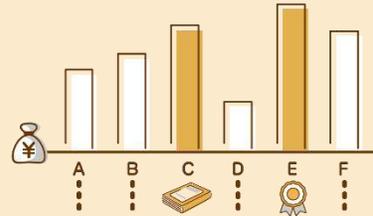
- その他の事業は減収減益。
- 日販テクシード(株)は、世界的な半導体不足の長期化影響などがあるも、間接費をコントロール。外販事業として、クラウド型コンテンツツビジネスシステムの開発に注力。
- (株)ASHIKARIが運営する「箱根本箱」は、コロナ影響が落ち着きはじめ、稼働率改善。
- 日本緑化企画(株)はグリーンレンタル事業が伸長。オフィスへの導入が増加。

その他の事業（日販テクシード株）



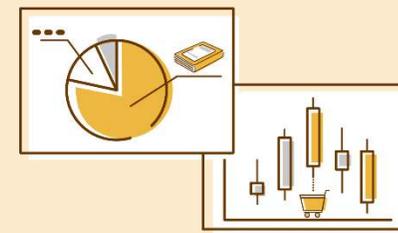
商材を一括管理できる

紙、電子書籍、ライセンス、物販(雑貨・文具・玩具等)の商材を一括管理できるようになります。



売上を一括管理できる

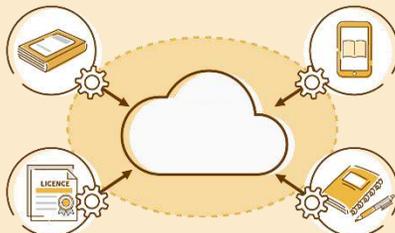
紙書籍や電子書籍ばかりでなく、直接販売の売上を一括で管理できるようになります。



どこで何が売れているかわかる

コンテンツ別、販売チャネル別の収支管理が可能になります。

2022年11月30日 プレスリリース予定



管理システムを統合できる

商材ごとに分かれている管理システムを統合でき、効率アップとコスト削減を実現できます。



どこからでも使える

インターネット環境があれば利用でき、テレワークでも業務が回ります。



老朽化や制度改正の対応が不要

クラウドサービスであるため、設備の老朽化や制度改正に伴う対応が不要になります。

クラウド型コンテンツビジネスシステム 2022年12月より稼働開始

連結計算書類

(2022年4月～2022年9月)

連結計算書類（貸借対照表）

（単位：百万円）

資産の部				負債の部			
科目	2022年度	2021年度	前年差異	科目	2022年度	2021年度	前年差異
	金額	金額			金額	金額	
流動資産	179,406	192,565	▲13,158	流動負債	184,716	197,392	▲12,675
現金及び預金	33,111	39,919	▲6,807	支払手形及び買掛金	110,243	116,104	▲5,861
受取手形、売掛金及び契約資産	72,059	74,660	▲2,600	電子記録債務	9,010	9,687	▲676
有価証券	2,900	2,540	359	短期借入金	13,033	14,461	▲1,427
棚卸資産	30,660	31,370	▲710	未払法人税等	625	764	▲139
返品資産	34,928	38,801	▲3,872	返金負債	38,673	42,833	▲4,160
その他の流動資産	7,061	6,871	190	諸引当金	1,136	1,282	▲146
貸倒引当金	▲1,315	▲1,597	282	その他の流動負債	11,993	12,258	▲264
				固定負債	21,615	21,603	11
固定資産	86,845	85,433	1,411	長期借入金	2,777	2,813	▲35
有形固定資産	56,013	54,181	1,831	退職給付に係る負債	5,391	5,401	▲10
無形固定資産	2,063	2,356	▲292	その他の固定負債	13,445	13,388	57
投資その他の資産	28,935	29,227	▲292	負債合計	206,331	218,996	▲12,664
貸倒引当金	▲167	▲332	165	純資産の部			
				株主資本	40,896	39,654	1,242
				資本金	3,000	3,000	—
				利益剰余金	39,765	38,517	1,248
				自己株式	▲1,868	▲1,862	▲6
				その他包括利益累計額	13,976	14,157	▲180
				非支配株主持分	5,046	5,190	▲144
				純資産合計	59,919	59,002	917
資産合計	266,251	277,998	▲11,747	負債及び純資産合計	266,251	277,998	▲11,747

連結計算書類（損益計算書）

（単位：百万円・％）

科目	2022年度		2021年度		前年比	前年差異
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高合計	219,813	100.0	246,399	100.0	89.2	▲26,585
売上高	223,703		250,875		89.2	▲27,171
売上割戻	3,889		4,476		86.9	▲586
売上原価	189,874	86.4	213,924	86.8	88.8	▲24,049
売上総利益	29,938	13.6	32,475	13.2	92.2	▲2,536
販売費及び一般管理費	30,043	13.7	30,829	12.5	97.4	▲786
販売費	10,317		11,153		92.5	▲836
一般管理費	19,725		19,675		100.3	49
営業利益	▲104	▲0.0	1,645	0.7	—	▲1,749
営業外収益	235	0.1	418	0.2	56.4	▲182
受取利息	58		60		97.0	▲1
その他の収益	177		357		49.5	▲180
営業外費用	115	0.1	94	0.0	122.3	21
支払利息	41		45		92.7	▲3
その他の費用	73		49		149.4	24
経常利益	15	0.0	1,969	0.8	0.8	▲1,953
特別利益	2,179	1.0	5	0.0	—	2,174
特別損失	269	0.1	124	0.1	216.7	145
税金等調整前中間純利益	1,926	0.9	1,849	0.8	104.1	76
法人税、住民税及び事業税	716		833		86.0	▲117
法人税等調整額	252		▲6		—	258
中間純利益	957	0.4	1,022	0.4	93.6	▲65
非支配株主に帰属する中間純利益	▲221	▲0.1	39	0.0	—	▲261
親会社株主に帰属する中間純利益	1,178	0.5	982	0.4	119.9	195

補足資料

事業	会社名
取次事業	日本出版販売株式会社
	株式会社MPD
	株式会社MPDパートナーズ
	C5SP株式会社
	出版共同流通株式会社
	日販物流サービス株式会社
	中三エス・ティ株式会社
	株式会社B・Story
	株式会社NKメディアリテイリング
	株式会社ひらく (★)
小売事業	NICリテールズ株式会社
	株式会社リブロプラス
	プラス株式会社 (子会社2社を含む)
	株式会社いまじん白揚
	株式会社積文館書店 (子会社6社を含む)
	株式会社Y・space
	株式会社クロス・ポイント
株式会社駿河屋BASE (★)	

事業	会社名
海外事業	日販アイ・ピー・エス株式会社
雑貨事業	株式会社ダルトン
	ダルトンホーム・ディベロップメント株式会社
コンテンツ事業	株式会社ファンギルド
	株式会社FGパブリッシング
エンタメ事業	日販セグモ株式会社
その他の事業	日販ビジネスパートナーズ株式会社
	日販テクシード株式会社
	株式会社ASHIKARI
	日本緑化企画株式会社

連結子会社36社 (★は新規連結)

連結主要経営指標の推移（半期ベース）

(単位：百万円・人・社)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	264,058	250,820	242,861	246,399	219,813
営業利益	569	1,072	1,401	1,645	▲104
経常利益	642	1,116	1,484	1,969	15
親会社株主に帰属する中間純利益	373	138	292	982	1,178
純資産額	56,352	55,089	56,338	59,002	59,919
総資産額	280,137	253,217	238,911	277,998	266,251
従業員数 (他 年平均臨時雇用者数)	2,949 (5,294)	2,692 (5,563)	2,654 (5,425)	2,648 (5,318)	2,470 (5,177)
連結対象子会社数	27	26	34	35	36